

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	米沢市立ひまわり学園（児童発達支援事業）			
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～	令和7年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15家庭	(回答者数)	15家庭
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日		～	令和7年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月20日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員の勤務体制が同じなので全員で打ち合わせを行い事前・事後会議による日々の情報共有ができて個人に合わせた丁寧な個別支援を行い、STによることばの支援も希望者に実施している	・個別に対応することで安全かつ丁寧な支援を心掛けています ・事前事後会議を行い一人ひとりの支援の方法について共通理解のもと、関われる体制をとっています ・職員全体で関わり、様々な角度から見つめ偏りなく支援できるようにしています ・一人ひとりに合わせた支援内容を考え、1対1で関わりを持つ時間を大切に支援しています	・小集団でのあそびや活動、個別支援の内容等を、さらに充実させ、成長を促していきます
2	・日頃から状況を保護者に伝え合い、発達の状況や課題について共有理解を持っている	・お子さんの良いところに目を向けてもらうようペアレントサポートの開催を毎年実施しています ・ひまわりカフェや茶話会などで保護者の方に様々な情報を提供しています ・利用児の送迎を家族にお願いしているので直接話をしたり連絡帳を活用し、共通理解に努めています	・ひまわりカフェ等を通じ、保護者同士あるいは保護者と職員が話す機会を設け、信頼関係の構築に取り組んでいます ・家族・きょうだいについて困っていることがないか尋ねる機会を設けるなど、いつでも相談できるような環境づくりと周知の方法を考えていきます
3	・就学に向けて、移行支援に繋がる機会をもうけている	・学区や希望する学校見学の推奨を実施しています ・サポートファイルの説明と推奨を行い併用園と連携し作成しています ・小学校との連絡会議を行い、情報共有と相互理解を図っています	・サポートファイルの活用について就学先との連携が必要だと感じています。スムーズな移行支援を今後も模索していきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・きょうだい支援・家庭支援が不十分である	・御家族の悩みや相談対応のスキルを学ぶ機会が人員に余裕がなく研修に参加できていないため、スキルアップできる体制と情報を集積していくことが課題です	・きょうだい支援、家庭支援の在り方について学び、きょうだい同士の交流の機会や行事への参加について検討していきます ・指導員の質の向上を図り、学びを深めることができるように取り組みます ・人員配置を考え支援の取り組みについて検討します
2	・SNSの活用	・情報を発信するツールを利用し、時代に合った情報を即座に発信できることが少ないです (緊急事態での一斉メール配信など)	・SNSの充実化、個人情報の留意点についてなど理解を深め学ぶ場の設定と保護者の同意が必要です
3			